

令和6年度 八王子市立横山第二小学校 学校経営報告書

学校教育目標

〇よく考える子

〇思いやりのある子

〇体をきたえる子

【目指す学校像】

「今日の学びに喜びを感じ、明日に期待を抱く学校」
〇一人ひとりの児童を大切にする学校
〇学び合い、高め合うことができる学校
〇保護者・地域を大切にする学校
〇組織体としての機能を充実する学校

【目指す児童像】

〇自ら学び、考え、すすんで実行する児童 〇自他を大切にし、認め合い、高め合う児童 〇心身ともに健康で、自己実現に努める児童

【目指す教師像】

〇児童一人一人のよさを最大限に引き出し、伸ばす教師 〇自ら専門性を高め、授業力向上に努める教師 〇保護者・地域と積極的に連携し、信頼される教師 〇生き生きと仕事に取り組み、協働し、高め合う教師

基本方針・重点目標	中期的目標と方策	今年度の取り組み目標と方策(教育活動の目標と方策及び重点目標と方策)	評価方法	主なアンケート項目に関する評価基準	評定	3学期評定	今年度の実態や改善に向けた次年度の方策
確かな学力の育成	・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実、主体的・対話的で深い学びの実現による3つの資質・能力の育成	・一人一台の学習用端末等のICT機器を効果的に活用する。 ・児童が自ら問題や課題を見付け、課題に対しての考えや意見を持ち寄り、より適切な解決方法を考えていく題解決学習を意図的・計画的に設定する。 ・補習教室(横二っ子タイム)や家庭学習等で、個々の課題に応じたドリル型学習コンテンツを活用した学習を進める。	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・各種学力調査 ・教員による自己評価	【学習指導】【適正な評価】【授業評価】肯定的な回答が90％以上	A	A	児童アンケート「先生の教え方は分かりやすい」の項目において、96.8％が肯定的評価であった。保護者アンケート【学習指導】においても97.9％が肯定的評価であった。次年度も引き続きICT等を活用して質の高い学習指導を行い、主体的・対話的で深い学びを実現させ、3つの資質・能力の育成に努めていく。
				【学習指導】【適正な評価】【授業評価】肯定的な回答が80％以上	B		
				【学習指導】【適正な評価】【授業評価】肯定的な回答が60％以上	C		
				【学習指導】【適正な評価】【授業評価】肯定的な回答が60％未満	D		
	・教育課程の適正な実施と全ての教科における授業力の向上	・年間指導計画に基づいた授業を確実に実践し、「国語タイム」(火曜日)、「算数タイム」(金曜日)の取組も充実させる。 ・校内研究で取り組んできた道徳科及び特別活動の実践を生かし、自他を大切にしようとしていく児童の育成に努める等、児童の資質能力を育む授業改善を行う。 ・授業観察や研究授業、OJT研修等を通して年間を通して授業改善に努める。	・週ごとの指導計画 ・授業時数報告 ・授業観察、研究授業、研修実施率 ・学校評価アンケート ・教員による自己評価	【授業評価】【学習指導】【適正な評価】肯定的な回答が90％以上	A	A	保護者アンケート【授業評価】では94.4％が肯定的評価であった。教員の自己評価では93.3％が肯定的評価であったが「研究授業以外の日常の中で他教員の授業を見に行くことのできる余裕がなかった」という意見があった。次年度は、校内研究を各教科に広げ更なる基礎基本の定着を目指し、また教員の業務改善も含めた多面的な対策を講じていく。
				【授業評価】【学習指導】【適正な評価】肯定的な回答が80％以上	B		
				【授業評価】【学習指導】【適正な評価】肯定的な回答が60％以上	C		
				【授業評価】【学習指導】【適正な評価】肯定的な回答が60％未満	D		
	・指導形態や指導体制の工夫、習熟度別指導や補習教室指導の充実を通した基礎基本の確実な定着	・算数科での習熟度別指導や他教科での交換授業や合同授業を実施する。 ・算数科において、低学年から少人数指導を実施する。 ・「八王子市学力定着度調査」の結果を分析し、全ての児童がはちおうじっ子ミニマムに主題される内容を確実に習得できるようにする。 ・1年生から3年生は全児童、4年生から6年生は実態に応じた人数による、算数科を中心とした放課後の補習教室(横二っ子タイム)を実施する。	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・各種学力調査 ・習熟度別指導実施率 ・教員による自己評価	【適正な評価】【学習指導】【学級経営】肯定的な回答が90％以上	A	B	八王子市学力定着度調査では、国語算数ともにほぼ市平均と同じまたは市を上回る結果となったが、全国学力学習状況調査では、国語算数ともに全国平均から約8ポイントマイナスの結果となった。次年度は、基礎基本の確実な定着に向けて、指導形態や指導体制をさらに工夫していき、校内研究の柱を児童の読解力や表現力の育成等にし、更なる授業改善に努める。
				【適正な評価】【学習指導】【学級経営】肯定的な回答が80％以上	B		
				【適正な評価】【学習指導】【学級経営】肯定的な回答が60％以上	C		
				【適正な評価】【学習指導】【学級経営】肯定的な回答が60％未満	D		
<重点目標> 豊かな心の育成	・教育活動全体を通した道徳教育の充実と年間指導計画に基づいた意図的・計画的な道徳科授業の充実 ・児童の主体性、思いやりの心を育む特別活動の充実	・道徳教育全体計画及び別業を基にした教育活動全体を通した道徳教育を計画的に実施し、重点的に指導する内容を「生命の尊さ」とした年間指導計画に基づいた道徳科授業の充実を図る。 ・校内研究を道徳実践の場としての特別活動とし、効果的なICT活用による特別活動の充実を図る。 ・自己肯定感を高め自己有用感を感じることができるよう児童の主体的な話し合いを促す学級活動を行う。 ・縦割り班活動等の異年齢集団による活動の取組を推進する。	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・道徳授業、特別活動授業実施率 ・教員による自己評価	【人権教育】【生活指導】肯定的な回答が90％以上	A	A	保護者アンケート【人権教育】【生活指導】では、93.8％が肯定的評価であった。しかし、児童アンケートによる自己評価「あなたは自分のことが好きですか」については肯定的評価が77％にとどまった。次年度は、道徳教育や特別活動をさらに充実させ、自己肯定感を高め自己有用感を感じることのできる場を設定していくとともに、学習において「できた」「わかった」と児童が感じられるような授業づくりを意識し実践していく。
				【人権教育】【生活指導】肯定的な回答が80％以上	B		
				【人権教育】【生活指導】肯定的な回答が60％以上	C		
				【人権教育】【生活指導】肯定的な回答が60％未満	D		
	・いじめにおける組織的な未然防止・早期発見・早期対応の徹底 ・不登校における関係諸機関との連携と個々の実態に応じた多様で適切な支援の充実	・学校いじめ防止基本方針に則り、週1回の「いじめ対策委員会」の開催、ふれあい月間における「いじめアンケート」や「校長講話」の実施、年3回のいじめ防止研修会を実施する。 ・校内委員会の定期開催、個票システムを活用した情報共有、登校支援コーディネーターを中心とした関係諸機関との連携強化等により不登校傾向の児童に対して多様で適切な支援を組織的に行う。 ・子供見守りシートを基に保護者との連携を強化する。	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・委員会、研修会等実施率 ・教員による自己評価	【いじめ防止対応】【生活指導】肯定的な回答が90％以上	A	A	児童アンケート「先生たちはいじめを許さない学校づくりに取り組んでいる」の肯定的評価が94％であった。保護者アンケートでは87.5％の肯定的評価であった。平均すると評価は90％を超えるが、約1割の児童・保護者がよりいじめ防止についての取組の推進を願っていることとらえることができる。次年度もより一層学校全体で児童一人一人に寄り添った丁寧な対応を心がけていく。
				【いじめ防止対応】【生活指導】肯定的な回答が80％以上	B		
				【いじめ防止対応】【生活指導】肯定的な回答が60％以上	C		
				【いじめ防止対応】【生活指導】肯定的な回答が60％未満	D		
	・一人ひとりの教育的ニーズに的確に応える特別支援教育の充実	・ユニバーサルデザインの視点から見た教室環境づくりや授業づくりを実践する。 ・特別支援コーディネーター、巡回指導員、特別支援教室専門員との連携深め、適切に「学校生活支援シート」「個別指導計画」を作成し、活用する。 ・特別支援教育の理解を深めるための校内研修を実施する。 ・相互に人格と個性を尊重し合うことのできる心情や態度を育てる副籍児童との交流を実施する。	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・校内研修実施率 ・教員による自己評価	【特別支援教育】【環境整備】肯定的な回答が90％以上	A	B	教員の自己評価では特別支援教育について100％が肯定的評価であったが、保護者アンケート【特別支援教育】では、肯定的評価が84％にとどまった。次年度も教員の特別支援教育に関する研究と実践をより多く設定していくと同時に、特別支援教育の東京都や八王子市の取組、学校の取組をより一層丁寧に周知していく。
				【特別支援教育】【環境整備】肯定的な回答が80％以上	B		
				【特別支援教育】【環境整備】肯定的な回答が60％以上	C		
				【特別支援教育】【環境整備】肯定的な回答が60％未満	D		
健やかな体の育成	・オリンピック・パラリンピック教育のレガシーを大切にした教育活動の推進 ・学校全体としての組織的な児童の体力向上、健康維持増進の取組の推進	・年間指導計画に位置付けた2020レガシー「横二リンピック」を開催する。 ・「横二リンピック」「横二小カップ」等の取組を通して全校児童でスポーツに親しむことや福祉体験等を通して障害者理解を推進し、共生社会の実現を目指した取組を行う。 ・年間3回、児童の体力向上と運動の日常化を図る「体力向上週間」を設定し、キャッチボールウィーク、持久走週間、短縄週間の取組を実施する。	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・体力テスト ・教員による自己評価	【特色ある学校づくり】肯定的な回答が90％以上	A	A	保護者アンケート【特色ある学校】では、96.5％が肯定的評価であり、児童アンケートでも肯定的評価が93％であった。次年度は横二リンピックや横二小カップを体力向上の取組の一環として位置付けるとともに、特別活動とも関連させて、児童自らが取組に向けて主体的に行動できるよう導いていく。
				【特色ある学校づくり】肯定的な回答が80％以上	B		
				【特色ある学校づくり】肯定的な回答が60％以上	C		
				【特色ある学校づくり】肯定的な回答が60％未満	D		
小中一貫教育の推進	・義務教育9年間を見通した横山中学校グループ(横山中、散田小、横二小)における小中一貫教育の推進	・横山中グループにおいて9年間で育てたい児童・生徒像を「自分の命、他者の命、地域の学び舎を大切にする児童・生徒の育成」として、目標を実現するための取組を推進する。 ・児童・生徒がよりよい人間関係を築く契機とする3校合同のたてわり班によるあいさつ運動やクリーン作戦、レクリエーション等の活動を実施する。 ・小中共通の「学習・生活スタンダード」の児童・生徒・保護者への周知を強化し、実践	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・小中連携行事実施率 ・教員による自己評価	【小中一貫教育】【特色ある学校づくり】肯定的な回答が90％以上	A	B	小中一貫教育について、児童アンケートでは96.4％が肯定的評価であったが、保護者の肯定的評価は85.4％にとどまった。次年度は、児童が実践的取組の中で中学校との連携を肯定的にとらえていることを励みに、保護者へ小中一貫教育の取組についてより丁寧かつきめ細やかに情報提供していく必要がある。
				【小中一貫教育】【特色ある学校づくり】肯定的な回答が80％以上	B		
				【小中一貫教育】【特色ある学校づくり】肯定的な回答が60％以上	C		
				【小中一貫教育】【特色ある学校づくり】肯定的な回答が60％未満	D		
保護者・地域との連携	・学校運営協議会を要とした地域との連携の推進 ・創立90周年記念行事を含めた学校教育の充実を図るための開かれた学校づくりの推進	・学校運営協議会を年8回確実に開催し、3校合同開催も検討する。 ・地域運営学校としての取組を周知する。 ・創立90周年を祝い、記念誌や記念歌を作成し、保護者や地域と連携した記念集会や記念式典を開催する。 ・創立90周年実行委員会を組織し、保護者や地域と連携した記念祝賀会を開催する。	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・協議会開催実施率 ・教員による自己評価	【地域推進】【情報提供】肯定的な回答が90％以上	A	A	教員の自己評価及び地域・学校運営協議会委員の【地域推進】については100％の肯定的評価であった。90周年式典・祝賀会は、保護者の代表が中心となって組織された実行委員会、教職員、学校運営協議会が力強くその企画運営に力を発揮し、強固に連携した取組となり、成功を収めた。次年度以降も今年度の経験を活かして学校運営協議会を要とした地域連携の推進を図っていく。
				【地域推進】【情報提供】肯定的な回答が80％以上	B		
				【地域推進】【情報提供】肯定的な回答が60％以上	C		
				【地域推進】【情報提供】肯定的な回答が60％未満	D		
職場環境の充実	・教員の働き方改革の推進と充実した職場環境の整備	・在校時間の適切な把握と働き方の見直しに向けた教職員の意識改革を推進する。 ・教職員の業務を精選、軽減し、教員が本来の専門性を発揮できる環境整備を推進する。 ・職場環境の整備、教職員の働き方改革を推進していくことを学校運営協議会や保護者会等で周知し、保護者や地域の方々の理解促進を図る。	・保護者アンケート ・地域アンケート ・児童アンケート ・教員の在校時間調査 ・教員による自己評価	【経営方針】肯定的な回答が90％以上	A	A	地域・学校運営協議会委員の【経営方針】については、100％の肯定的評価であった。保護者アンケートにおいても93.8％の肯定的評価であった。学校経営方針が概ね地域・保護者へ浸透していると考える。教員の自己評価においても業務改善で100％の肯定的評価であった。次年度も不易と流行を的確に見極め、教育の質を高めるための更なる職場環境の充実を図っていく。
				【経営方針】肯定的な回答が80％以上	B		
				【経営方針】肯定的な回答が60％以上	C		
				【経営方針】肯定的な回答が60％未満	D		